

様式第1の2（第1条の6関係）

① 危険物 仮貯蔵 承認申請書
仮取扱い

		② 年 月 日	
③ 殿		④ 申請者 住所 (電話) 氏名	
⑤ 危険物の所有者、管理者又は占有者	住所	電話 ()	
	氏名		
仮貯蔵・仮取扱いの場所	所在地 ・ 名称	⑥	
危険物の類、品名及び最大数量	⑦	指定数量の倍数	倍
仮貯蔵・仮取扱いの方法	⑧		
⑨ 仮貯蔵・仮取扱いの期間	年 月 日から	年 月 日まで	日間
管理の状況 (消火設備の設置状況を含む)	⑩		
11 現場管理責任者	住所	緊急連絡先 ()	
	氏名	【危険物取扱者免状：有（種類： ）・無】	
仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理	⑫		
その他必要事項			
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄	
	承認年月日 承認番号		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
3 案内図、配置図、平面図、構造図その他関係書類を添付すること。
4 ※印の欄は、記入しないこと。

【危険物仮貯蔵仮取扱い承認申請書 記入要領】

- ① 仮貯蔵、仮取扱いのいずれか一方しか行わない場合は、実施しない申請を二重線で抹消する。
- ② 申請日（申請書提出日）を記入する。
- ③ あて先は、「五所川原地区消防事務組合 消防長 ○○ ○○」と記入する。
- ④ 「申請者」欄は、申請者が法人の場合は、その名称、代表者氏名及び事務所の所在地とする
- ⑤ 「危険物の所有者、管理者又は占有者」は仮貯蔵、仮取扱いをする危険物の所有者、管理者又は占有者について記入する。
- ⑥ 「仮貯蔵・仮取扱いの場所」は、仮貯蔵、仮取扱いをする所在地を記入する。
- ⑦ 「危険物の類、品名及び最大数量」は、法別表に定める類、品名、仮貯蔵・仮取扱いをする最大数量を記入する。品名が多いときは、その品名を別紙として添付する。
- ⑧ 「仮貯蔵・仮取扱いの方法」欄は、どのような貯蔵、取扱い方法をするのか記入し、現場周辺に設けるさく等の概要も記入する。
- ⑨ 「仮貯蔵・仮取扱いの期間」欄は、年月日を記入するが、その期間は10日以内である。
- ⑩ 「管理の状況」欄は、設置する消火設備や巡視状況を記入する。
- ⑪ 「現場管理責任者」欄は、住所・氏名・緊急連絡先を記入し、危険物取扱者免状の有無に○印を付け、有の場合は免状の種類を「甲種」または、「乙種○類」と記入する。
- ⑫ 「仮貯蔵・仮取扱いをする理由及び期間経過後の処理」欄は、理由と期間経過後の処理を簡記する。